

## 省エネ意識の広がりを実感しています



### 藤女子中学 高等学校

北海道札幌市

本校は平成18年10月管理棟改築工事が完了。また改正省エネ法をきっかけに事務所よりエネルギー使用のデータがまとめられ教職員に公表されるようになりました。主に技術家庭科で省エネ、エネルギー環境教育の視点を取り入れた学習を進めていたこともあり、校内で個々に行われている省エネアプローチを大まかに整理してまとめました。特に事務所からのアプローチによる教職員に対する省エネ意識向上に効果が見られました。

#### プロフィール

住居：教員60名、生徒196名(3年生)

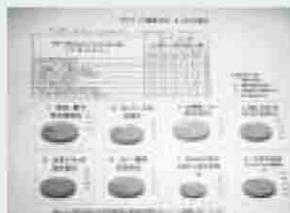
実践期間：2008年4月1日～2009年10月30日

実践分野：冷暖房エアコン、照明、家電機器、暖房(ガス・灯油)

### アプローチ

#### 1.事務所から教職員へ(通年)

年初めにエネ活動項目一覧表を配布し、年度末に省エネ行動自己評価表配布回収し、意識調査及び使用エネルギー他データ公開をしました。



#### 2.教員から生徒へ(把握分)

中学3年技術家庭科でエネルギー環境教育の視点を取り入れた授業を継続中(通年)。ロングホームルームで省エネ、環境負荷低減について学習し、国語科卒業ノートのテーマにもなっています。

#### 3.学校長から教職員へ(通年)

職員朝礼時主にコピー機、印刷機の帰宅時における主電源の消し忘れ注意。

#### 4.用務室の方から生徒へ(毎日)

ゴミ捨て場での分別声かけ。



#### 5.生徒会から生徒へ(年1～2回)

月間目標に省エネ活動を掲げる。

### 校舎改築～旧校舎との違い～

#### 1.省エネを意識したもの

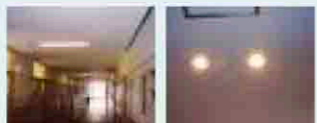
窓…内側樹脂サッシ・省エネガラス

#### 2.快適性を意識したもの

エアコン設備(6教室)、電気便座(13)、補助用電気暖房機(9室)

#### 3.増えた電気製品

照明器具(多数)、パソコン(多数)、電気温水器(8)、コピー機(1)、印刷機(2)、電気ポット(2)、移動式電気ストーブ



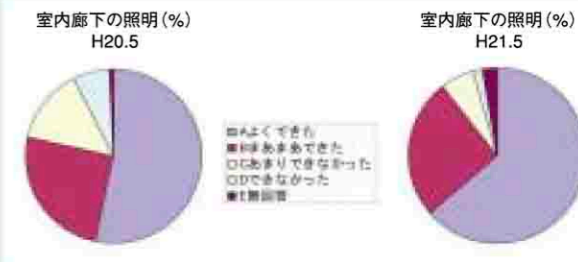
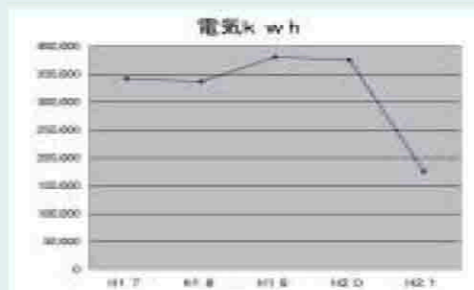
### データ結果及び今後の課題

(平成18年10月校舎改築工事完了につき平成19年を基準年として比較)

#### 1.電気の使用について

平成19年は工事完了に伴い増えた照明器具他電気製品による電気使用量の増加が明らかです。しかし事務所の省エネ呼びかけが始まったことで僅かながら減少傾向にあり、平成21年には約20%削減が予測されます。これは教職員との自己評価結果と一致しており省エネ意識向上の結果と思われる。

また、月別に見ると9月の消費量が最も少なく1～3月が多く2.6倍の差がありますので実態把握と省エネ対策は今後の課題です。



### 2.暖房用重油について

改築によるコンクリートの水分の影響から平成19年の使用量は多いのですが、平成20年は19%削減されています。暖房のこまめな節約が今後の課題です。



### 感想・展望

#### 事務所側からのアプローチで教職員が無理なく省エネ。

校舎改築以前よりエネルギー消費量が増えていたことを知り驚きました。確かに照明器具をはじめ電気機器が増えていますから事務所側から省エネの呼びかけがなければ学校全体としてこれだけの消費量の減少はなかったと思われます。何よりも一番大きな成果は、事務所側からの毎年のアプローチにより教職員が無理なく省エネを始めたことです。

さらに今後のより効果的なエネルギー削減方法として、1)適切な機器の導入、2)エネルギー環境問題を理解し実践できる人を育てることが考えられます。1)についてはスクールニューディール政策がありますから校舎を建て替える学校にはぜひお勧めです。2)については生徒の身近な暮らしにつなげて教育的働きかけを続けることです。例えば、

●教室の照明を適切に使う。これは灯りの削減率と省エネ行動を繋げやすく、その効果を気づかせることが

できます。  
●暖房の目盛りのこまめな調節と暑ければ廊下側のドアから冷気を入れる:室温が高くなると朝目盛りを最大にしていたことを忘れてままで窓を開けてしまうちぐはぐな行動が習慣にならないよう気づかせることです。

●エコ・クッキングを継続する:都市ガスは勇払ガス田から自給されています。しかし推定40年で枯渇するとされていますから生徒にとってまさに限られた資源を有効に使う省エネマインドが養われます。

いずれも各教室ごとにエネルギー使用量を計測するのは現状では叶いません。しかし21世紀のエネルギー環境問題を各教科で取り上げる機会が増えていると感じますので、学んでいる意味を時折思い出させ、省エネ行動の必要性に気づかせる学校全体としての雰囲気重要と感じています。

### ポイント

- 事務所からのアプローチでまず教職員が省エネ意識を持った。
- 教師から生徒へ「省エネ授業」により意識が啓蒙されている。
- 電気機器が増えたにもかかわらず約20%の電気使用量削減が見込まれる。

